

# 視聴覚教育

NO.296

発行日

15.10.15

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

「パッチ」  
一旦完成したプログラムの一部を修正すること。また、修正を行うために変更点のみを抜き出して列挙したファイル。多くはインターネットなどを通じて無償で配布される。パッチを使って修正することを「パッチを当てる」と言う。

## 視聴覚機器保有調査の結果報告

学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成14年7月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は、機器の保有状況、「使用頻度の高い機器」、「今後充実を希望する機器」の三項目である。本年度も、充実を希望する機器の中から、特にパソコン関連機器も取り上げて調査した。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育(第35号)』に掲載されるが、ここでは概要を述べる。

使用頻度の高い機器の順位

機器名	小学校	中学校	総合
CD付き録音機	1	1	1
テレビ受像機	1	3	2
VTR	3	1	2
パソコン	4	3	4
デジタルカメラ	5	6	5
プリンタ	6	5	5

は、昨年に引き続き、CD付き録音機、テレビ受像機、VTRといった機器が小学校、中学校ともに上位を占めた。理由として、操作が比較的容易な上、授業や校内活動で幅広く利用できることが挙げられる。特に小学校では、教材提示装置の利用も多く、様々な機

器と簡単に接続できるテレビ受像機は、教育番組やVTRの視聴に限らず、幅広く使用されているようである。

次に「充実したい機器」では、MD付き録音機(MDデッキ)が一番多かった。また、DVDプレーヤーが昨年度より上位に上がってきた。より高品質の音声や映像が教育現場でも必要とされている結果であろう。DVDとHDD、あるいはDVDとVHSのダブルデッキの需要も増えている。逆にデジタルスチルカメラは圏外となった。これはパソコンの更新に伴い二十台ずつ配備された結果、十分な台数を確保できたためであろう。パソコン関連機器では、大型カラープリンタの希望が多かった。ソフトでは、今夏の大規模なウイルス被害もあり、セキュリティソフトの需要が大幅に増える傾向が見られた。

充実したい機器の順位

機器名	小学校	中学校	総合
MD付き録音機	1	2	1
DVDプレーヤー	2	1	2
デジタルカメラ	3	3	3
教材提示装置	4	5	4
AV調整卓	4	6	5
ダブルデッキ	7	4	6

## 「視聴覚教育あれこれ」

### 平成十五年度岡崎市教育研究大会

去る9月10日(水)、甲山中学校で岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者には名古屋大学の大谷尚教授をお迎えした。「高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。発表された16点のリポートの内容を分類すると次のようになる。

学習メディア、パソコンの

効果的な活用法の研究 (7)

校内ネットワークの活用研究 (5)

岡崎教育ネットワーク及び

コンピュータ利用環境の整備と

活用法の研究 (4)

助言者の大谷先生には、「丁寧なご指導、ご助言をいただき、次のような言葉でまとめられた。

現在の学校教育の大切な役割の一つに、一人で学ぶだけでなく他の児童・生徒から刺激を受けて学習意欲が増すということがある。コンピュータを通して学んだことをコンピュータ以外でも活かしていくなど、子供たちの現状やニーズをふまえた、視聴覚教育の研究を進めていきたい。

なお、「父母と教師の教育を語る会(県教研)」には、羽根小学校の河合泰宏先生と北中学校の森竜師先生が選ばれた。

「実践報告」

「ネチケッツ」について考える

岡崎市立城北中学校 算 哲也

本校では、生徒の半数以上が自宅でインターネットを自由に利用できる環境にある。しかし、インターネットにおけるエチケッツや危険性についてはまだまだ意識が低い。そこで、二年生の総合的な学習の取り組みでは、週一時間の情報教育を位置づけている。

NHK教育テレビ放送「世の中なんでも現代社会 ネット」の視聴では、インターネットの光と影について学習を進めた。当初、ほとんどの生徒がその存在を肯定し、使い方さえ誤らなければ大丈夫だという感想を述べたがその不十分さを感じた。

そこで、生徒の多くが体験しているチャットのマナーを学ぶことにより、パソコンの画面の向こうに人間が存在すること、そして向こう側にいる人間のことを思いやることの大切さを学習させようと考えた。パソコン室内だけで使えるチャットルームを用意して自由にチャットさせたところ、他人への誹

謗・中傷はしないようにと話しても、自分の正体がわからないとなると迷惑をかけて楽しむものが出現した。マナーを育てるといことは、生徒の道徳性を高めることに他ならないことを再認識し指導を進めている。



「レッツ・トライ」

「デジカメもフルに使って、番組作り」

五年生国語教材「ニュースを伝え合おう」は、

身近なニュースを伝え合うメディア学習である。各学校では、臨場感を出すためにビデオ映像を現地で撮影し、レポーターの言葉を添えて番組作りを進めている。その中で、デジカメで撮った写真の活用も図りたい。

あらかじめ「デジカメ写真はできるだけたくさん撮影しておく。ビデオ映像では、添えた言葉を後から推敲することが難しい上、映像を求めて、何度も現地に足を運ぶことは難しい。デジカメ写真であれば、たくさん撮影した中から課題に合う写真を話し合っ選んだり、写真を見ながら、ゆっくり添える言葉も考えたりすることができるといえる。

本学級では、天才五年生ニュース「志賀牧場編」を作成した。ニュースの中で、「おいしい牛乳を作るために牧場が努力していることと牛の不思議さを伝えたい」と考え取り組んだ。四月からデジカメ写真で牛の様子を映してあったので、産まれたばかりの子牛や胎盤、人工授精や鼻輪を取り付けているところなど多くの写真を見直して番組作り役に役立てることができた。

ぜひ、ビデオ機器やデジカメ写真機を携えて、楽しいニュース番組作りに取り組んで欲しい。そして、出来上がった番組は、「ふるさと岡崎メディアコンクール」に出品をして欲しい！

(常磐南小学校 情報主任 本多 教江)

ライブビューだよ

新規購入予定16ミリ映画(社会教育)の紹介

領域	題名	分
家庭	泣いて笑って泣いて ポコアポコ	53
交通安全	自分で守ろう自分の命 防ごう自転車事故	16
アニメ	地球SOS地球が熱を出している	20
アニメ	ぎろろんやまと10びきのかえる	20
アニメ	金太郎 心のちからもち	13
アニメ	からのパンやさん	20
アニメ	「1ねん1くみ」シリーズ 1ばんフル	13
アニメ	おれたち、ともたち!シリーズ あしたもともたち	13
アニメ	みんな友だち	15
アニメ	がんばれスイミー	26

感性を育む親子映画会のお知らせ

十二月十四日(日)、中央市民センター(上六名三丁目)において、親子映画会を開催いたします。上映予定のアニメ映画は、

- ・ 忍たま乱太郎(あたたかい心でしんせつにする)
- ・ 源吉じいさんと子ぎつね
- ・ 銀のろうそく立て

以上の3本です。入場無料。午前10時と午後1時30分の2回上映します。ぜひご覧ください。